

ベトナム政府の交通インフラ拡張と成長戦略

2025 年 2 月 21 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 不動産・建設

ベトナム政府の交通インフラ拡張と成長戦略

ベトナム国内の交通インフラ整備は 2024 年に大きな進展を遂げ、ベトナム政府の公共投資の推進により、複数の主要プロジェクトが加速された。ベトナム商工省は、交通インフラの整備を国家戦略の重要課題と位置づけ、道路、高速鉄道、都市交通の発展に力を入れている。

2024 年には、10 の新規プロジェクトが着工し、8 つのプロジェクトが完成した。これにより、高速道路の整備が進み、現在 2,021km の高速道路が運用されている。さらに、ベトナム国内の経済成長を支えるため、北南高速鉄道計画が正式に承認され、都市鉄道ネットワークの整備も進められている。ホーチミン市とハノイでは、新たな鉄道システムの開発が進められ、都市の交通渋滞の軽減が期待されている。

公共投資の面では、2024 年の資金執行率が 95% を超え、計画通りに進んでいる。2025 年には、過去最高となる約 90,000 億ドンの投資計画が設定され、さらなるインフラ整備が進められる予定である。特に、道路交通においては、ベトナム国内の高速道路網を 3,000km まで拡張し、国際空港の建設と拡張も進行中である。

また、ベトナム国内の物流と交通サービスの成長も続いている。2024 年の貨物輸送量は前年比 14.5% 増の 2,450 百万トン、旅客輸送は 11.2% 増の 4.7 億人に達した。これにより、ベトナム国内の経済成長に寄与するとともに、輸送の効率化と利便性向上が期待されている。

しかし、いくつかの課題も残されている。ロンタイン国際空港の建設が一部遅延しているほか、メコンデルタ地域の建設資材の供給が不足している。さらに、用地取得や補償問題が進捗の障害となっており、これらの課題の解決が急務となっている。

ベトナム政府は、2025 年に向け、交通インフラのさらなる拡張と効率的な資金活用を推進し、持続可能な成長を実現する方針である。特に、高速鉄道の導入や都市交通の近代化を進めることで、ベトナム国内の経済発展と社会インフラの向上を目指している。

以上